

令和6年度 第3回 長崎市行政改革審議会 議事録

日時：令和6年12月26日（木）15:30～17:00

場所：長崎市役所 15 階中会議室

議題：

- (1)次期行政経営プランの策定について
- (2)次期行政経営プランの提言内容について
- (3)使用料・手数料の見直しについて

(1)次期行政経営プランの策定について

- ・「戦略的収支改善」及び「歳入増・歳出節減」に関する質問があった。
- ・事務局は、予算では歳入は低めに、歳出は高めに設定し見込んでいる旨回答した。
- ・新東工場建設や南北幹線道路の財源について質問があった。
- ・事務局は、有利な国費や起債を獲得しながら進めていく旨回答した。
- ・「各部局の問題解決のためには DX を推進する組織構築が大変、10 年以上先を考えていく必要がある。」との意見があった。
- ・事務局は、DX の推進は失敗ができない。デジタル人材育成の取組みを始めたところであるが、内部の力を高めつつ、民間の力もいただきながら取組みを進めていきたい旨回答した。
- ・「目標設定にあたっては、現状に基づいた数値の予測となっており、地方公共団体はタイムリーに反映させていくことが難しい。」との意見があった。
- ・事務局は、市や国内の情勢を踏まえ、3年後の見直しのタイミングに向けて1年ごとに状況を把握しながら取り組みたい旨回答した。

(2)次期行政経営プランの提言内容について

- ・人口減少の観点で、「多くの企業が人材確保に困っている。地元企業が学校に出向いて説明する機会を作ってみてはどうか。」「県内企業の情報をデータとして中学校の教育カリキュラムに活用すれば、取組みを進めていきやすいのではないか。」「移住者を温かく受け入れるまちであることが人口減少の抑制につながるのではないか。」との意見があった。

(3)使用料・手数料の見直しについて

- ・「利用頻度が低い施設の売却の検討など、抜本的に手を付けてみてはどうか。」という意見があった。
- ・事務局は、利用者が多い施設は一人当たりの料金は安くなるが、利用者が限定的な施設だと一人当たりの負担が重くなる。施設のあり方も含め検討していく旨回答した。
- ・「高齢者に対する減免措置の考え方の見直しがあるのか。」という質問があった。
- ・事務局は、高齢者も見直しの対象に含まれ、年齢の線引きなど減免の必要性について検討していく旨回答した。